

## 連載

### 自動車リサイクル業界を担うホープ(26)

名前:堀江 明仁(ほりえ あきひと) (25歳)

所属:カーレポ株式会社  
(茨城県水戸市)

担当:ELV事業部 資源Gr

特技:野球・大食い

MBTI :討論者型(発想力と行動力に優れ、新しいアイデアを生み出しながら周囲を巻き込んで前向きに挑戦できるタイプ)

— 仕事で誰にも負けない部分

体力では誰にも負けません!

— この業界の魅力を一言で

様々なメーカー、年式の車に触られ、毎日楽しく仕事ができるところ。

— 将来の業界への期待

自動車リサイクル事業の必要性をできるだけ多くの方々に認知してほしいと思っています。

※MBTIとは認論・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。

## INDEX

【連載】自動車リサイクル業界を担うホープ / 巻頭言 —— P.1

自動車リサイクル士講習会のご案内 —— P.2

日本自動車リサイクル機構 (JAERA) 定時社員総会のご案内 / 北自協 第30期 総会を開催 —— P.3

4月新車販売台数・使用済自動車発生台数・輸出返還台数 —— P.4

鉄スクラップ最新情報 —— P.5

活動予定・お知らせ / 編集後記 —— P.6

## 巻頭言

広報部会

小森 雄太

会員の皆様、はじめまして。このたび6月よりJAERA広報部会に就任いたしました、カーレポ株式会社の小森雄太です。私はこれまで輸入車の新車整備事業という「動脈産業」に携わり、約6年前に自動車リサイクル業界へ飛び込みました。外から業界を見てきたからこそ、その社会的重要性や役割の大きさを日々実感しております。

現在、業界は自動車リサイクルシステムの大規模改造や再生プラスチック活用促進など、大きな転換期を迎えています。こうした変化の中で、業界の魅力や課題、未来へのビジョンを発信し、皆様と社会をつなぐ「共感の輪」が広がるような誌面づくりに取り組んでまいります。若輩者ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

02

## —法令の理解を深め、適正な業務につなげる— 2026年度 自動車リサイクル士 新規講習会のご案内

### 自動車リサイクル士制度 新規講習会を開催

2026年度も自動車リサイクル業に携わる現場の皆様、管理者などの皆さまを対象に、「自動車リサイクル士制度 新規講習会」を開催いたします。

本講習会では、自動車リサイクル法の成り立ちや制度の趣旨を学べ、法令に基づく適正な業務の考え方を体系的に理解できます自動車リサイクル法の成り立ちや制度の趣旨、関連する仕組みの内容をはじめ、法令に基づいて適正に業務を行うために必要な知識をより深く学ぶことができます。

講習はWEBでのオンデマンド配信、修了試験は全国8会場で実施します。日々の業務に携わる方はもちろん、管理者の皆様や新人向けの人材育成の一環としても、ぜひご活用ください。



#### ◆ 申込締切：2026年7月13日（月） 必着

※先着順受付のため、定員に達した会場は締切日前でも受付終了となります。

#### ◆ 講習動画配信期間：2026年9月1日（火） 正午 ～ 11月30日（月） 正午

#### ◆ 合格発表：2026年12月1日（火） 10:00 予定

### 試験会場・定員

会場	試験日	時間	定員
札幌	2026年10月2日（金）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	30名
仙台	2026年10月9日（金）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	30名
東京	2026年10月16日（金）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	80名
名古屋	2026年10月21日（水）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	30名
大阪	2026年10月22日（木）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	20名
岡山	2026年10月23日（金）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	30名
福岡	2026年10月30日（金）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	30名
沖縄	2026年11月6日（金）	受付13:00～14:00 試験14:00～15:00	20名

※東京会場は毎年早期に定員に達しますので、お早めにお申込みください！

#### ◆ 受講料（税込） JAERA会員 25,000円 JAERA非会員 35,000円

#### ◆ お申込方法 受講申込書に必要事項を記入のうえ、受講料をお振込みいただき、申込書と振込証明書の写しを、郵送にてJAERA事務局までお送りください。

（書類到着および入金確認後、受付完了メールをお送りします。）

—詳細やお申込みは [JAERA ホームページ](#) から—

お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 事務局

TEL: 03-3519-5181 FAX: 03-3597-5171 MAIL: [jaera-homepage@elv.or.jp](mailto:jaera-homepage@elv.or.jp)

## 03

2026年度 日本自動車リサイクル機構（JAERA）  
定時社員総会のご案内

2026年度の「定時社員総会」の開催が決定しましたので、ご案内いたします。

日にち	2026年6月22日（月）
場所	アートホテル日暮里ラングウッド（東京都荒川区東日暮里5-50-5） ※アクセスは <a href="#">こちら</a>
時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第1部 定時社員総会：13:00～14:00（12:30受付開始）</li> <li>■ 第2部 会員交流会：14:15～15:45 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自動車リサイクル法施行20年目見直しに関するJAERA提言</li> <li>② 制度見直しの検討状況等</li> <li>③ ワイヤハーネス共同出荷事業ガイドラインの説明 など</li> </ul> </li> <li>■ 懇親会：16:00～18:00（15:30受付開始）</li> </ul>

※今年度も対面のみでの開催となります。

## ■社員（支部長）の皆様

社員総会のご案内を5月22日（金）に個別でメールにてお送りしておりました。**出欠のご連絡**につきましては、**6月12日（金）まで必ず**メールに添付の出欠回答票にてお知らせくださいますようお願いいたします。（万が一、メールが届いていないなどございましたら、機構事務局までお問合せ下さい）

## 04

## 北自協 第30期総会 講演会・懇親会を開催

## 組合員が一致協力してさらなる適正処理に努めていく

北海道自動車処理協同組合（北自協）は、第30期総会、講演会・懇親会を札幌市内で開催しました。北自協は平成8年設立ですが、その母体は昭和54年に札幌・北広島・千歳地区の解体業者によって発足した親睦会にさかのぼり、長い歴史を有しています。これまで北海道における自動車リサイクルの適正処理と資源循環の推進に取り組み、放置車両の撤去など幅広い社会貢献を続けてきました。



岩本氏の講演



石上理事長（右から6番目）を囲んで

当日は、経済産業省や関係団体をはじめ、多くの来賓が参加され、JAERA本部からは阿部知和専務理事も出席しました。講演会では、経済産業省から自動車リサイクルを巡る課題や政策動向について説明があり、参加者にとって業界の現状と今後の方向性への理解を深める貴重な機会となりました。

また、元北海道日本ハムファイターズで現在は野球解説者の岩本勉氏による講演も行われ、会場は大いに盛り上がりました。石上剛理事長は、「廃車処理は我々の使命」との思いのもと、組合員が一致協力してさらなる適正処理に努めていく考えを示されました。

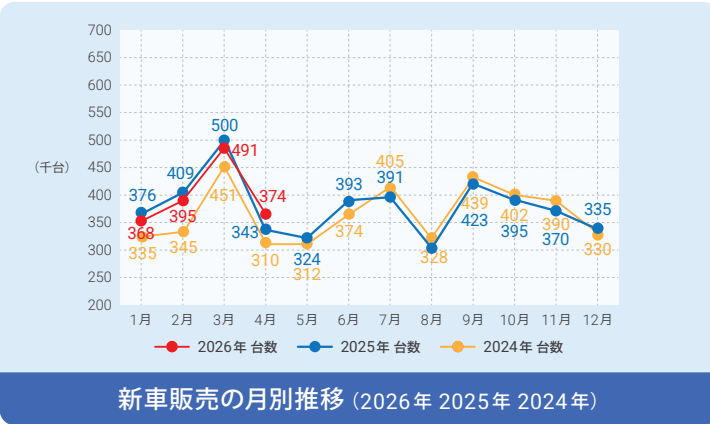
05

4月新車販売・使用済自動車発生台数・中古車輸出に係る返還台数

2026年4月の台数動向

— 使用済は前年割れ、新車販売、中古車輸出の返還件数は前年越え

■2026年4月度 新車販売台数 373,952台 (前年同月比109.1%)

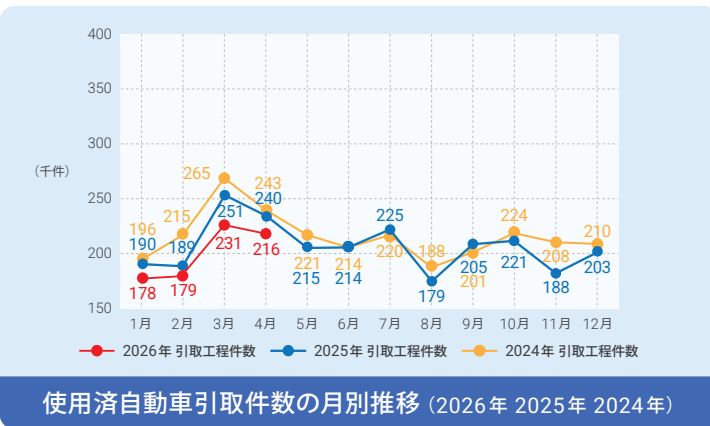


年累計	台数(台)	前年比(%)
2026年(4月まで)	1627,309	99.9
2025年	4,565,777	103.3
2024年	4,421,494	92.5
2023年	4,779,086	113.8
2022年	4,201,320	94.4

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協力連合会

■使用済自動車引取(電子マニフェスト)実施状況

2026年4月度 引取工程 216,379件 (前年同月比90.3%)



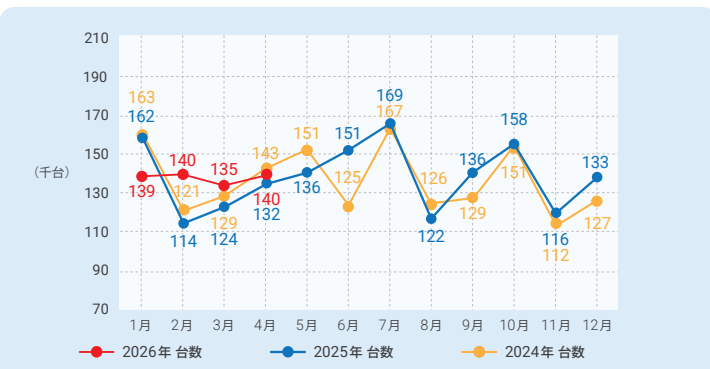
年累計	件数(件)	前年比(%)
2026年(4月まで)	803,699	92.5
2025年	2,519,062	97.2
2024年	2,607,112	95.5
2023年	2,731,329	98.6
2022年	2,769,122	87.5

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

■中古車輸出に係る返還台数※

2026年4月度 140千台 (前年同月比103.7%)

※中古車の輸出に伴い、預託していたリサイクル料金を返還した台数



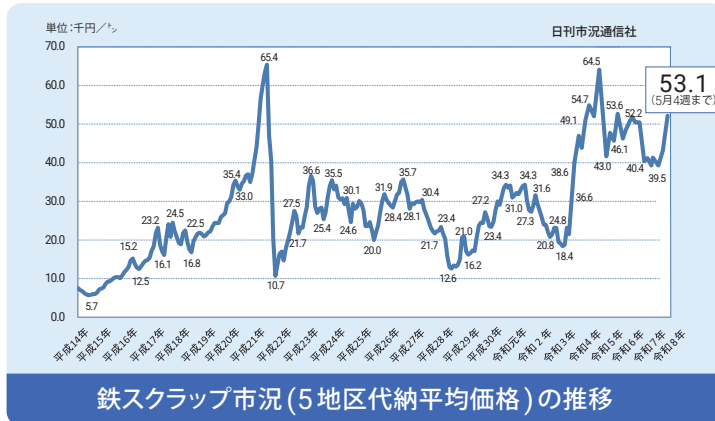
年累計	台数(千台)	前年比(%)
2026年(4月まで)	554	103.6
2025年	1,656	100.7
2024年	1,644	111.0
2023年	1,481	115.7
2022年	1,281	95.5

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

## 06 ▶ 鉄スクラップ最新情報

[ 提供：日刊市況通信社 ]

## 5月第5週（27日）の鉄スクラップ動向



5月27日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	53,500 ~ 55,000	様子見
	南関東	53,500 ~ 55,000	様子見
	浜値	53,500 ~ 54,500	様子見
名古屋		53,000 ~ 54,000	様子見
関西	大阪	53,000 ~ 53,500	様子見
	姫路	54,000 ~ 55,000	値上がり

## 東京製鉄高松SYが27日から本格稼働 特級買値53,500円でスタート

東京製鉄の新たな鉄スクラップの集荷拠点となる【高松サテライトヤード】(香川県高松市朝日新町)が27日から稼働を開始した。26日に購入価格を発表し、特級買値を1トン当たり53,500円、新断を同54,500円、シュレッダーAを同54,000円とした。昨年末に受け入れを中断した高松鉄鋼センターは設備老朽化などにより、荷役能力を發揮できず、岡山工場との価格差は昨年12月に最大5,000円の開きが生じていた。だが、同センターに代わる新拠点【高松サテライトヤード】へのリニューアルとともに、拠点間格差を一気に縮めてきた点で、同社の集荷に対する本気度が表れている。

【高松サテライトヤード】の敷地面積は約3,000㎡。高松鉄鋼センターで勤務していた4名のスタッフが常駐する。検収員は他のサテライトヤードと同様に、敷地内の別の場所からカメラで映し出された画像を確認しながら効率的に検収を行う。ここで集荷した鉄スクラップは同社岡山工場向けを中心に海上輸送を行っていく方針にあり、「かつては製鋼および圧延を稼働させていたこの地に東京製鉄が戻ってきたと思ってもらえるには買い続けることが大切であり、四国で発生する貴重な資源をしっかりと国内循環させていきたい」(東京製鉄・佐藤拓也購買部購買課係長)と力を込める。

## 関東 一部シッパー高値修正も全体に波及せず

関東鉄スクラップ市場では、湾岸シッパーの一部に高値修正の動きが出ている。海外需要家の引き合いが減少しており、新規成約が一段と難航。6月以降は夏季の減産期に入るため、船積みが一服したシッパーや次の配船まで一定の間がある一部のシッパーがH2の高値を調整値下げしている。H2炉前実勢価格は53,500～54,000円中心、高値54,500～55,000円見当。H2浜値は53,500～54,500円中心、神奈川方面が500円がた割高だ。

## 東海 需給に引き締め感も上げ一服

東海市場の鉄スクラップ市況は5月中旬の続伸後、2週間にわたって様子見横ばいの推移が続く。鉄スクラップ需給に引き締め感が残っているものの、上げ一服する展開で、主要電炉が鉄スクラップ購入価格を値上げした13～14日以降の値動きは見られず、横ばいの推移のまま月末に向かっている。H2炉前実勢価格は53,000～54,000円中心。新断バラは47,500～49,000円中心、高値59,500円(一部60,000円)見当で推移している。

## 大阪 電炉入荷に停滞感が続くも慎重姿勢を維持

大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見商状にある。東京製鉄関西サテライトヤードの5月27日からの500円の追加値下げや6月からの一部炉休が荷動きの大きな変数となると見られ、メーカーは慎重姿勢を維持。入荷確保に向けて実勢以上の買値が複数で散見されている。品種を問わず、全体的な市中発生量の低迷が電炉入荷に停滞感をもたらし続けている。H2炉前実勢価格は、大阪が53,000～53,500円、姫路が54,000～55,000円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、5月27日午後時点のもの)

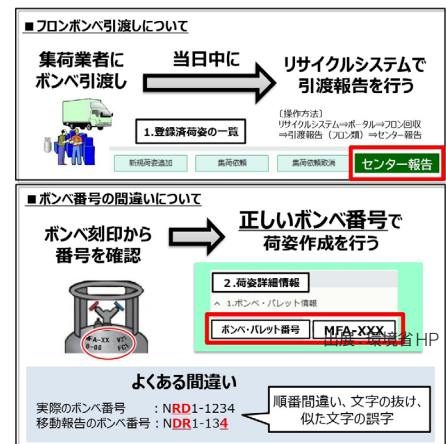
07

## 【注意喚起】

## フロン類引渡報告・ボンベ番号の再確認について

自動車再資源化協力機構（JARP）から、フロン類引渡報告忘れやボンベ番号間違いにより、引取報告を行えない事案が増加しているとの案内がありました。皆さまにおかれましては、フロンボンベを集荷業者に引き渡した後、当日中にリサイクルシステムで引渡報告を行うとともに、ボンベ刻印から番号を確認し、正しいボンベ番号で荷姿作成を行っていただきますようお願いいたします。返却となった場合は、往復運搬料金の負担や、ボンベが使用できない期間が長く生じますので、改めてご注意ください。

詳細は[こちら](#)（JARP ホームページ）



【出展：JARP ホームページ】

## 編集後記



暑い日が増えビールを楽しむ日も多くなってきました。そんななか10月からの酒税改正の話を知ると、「安いビール」と思って発泡酒を飲んでいた私としては残念です。「健康意識」や「他の楽しみ」などで、若い世代は「酒離れ」が進んでいるのをよく聞きます。また、飲酒文化をおう歌してきた私たち世代や先輩たちの多くは、年金生活に入り医者から禁酒や節酒を勧められたりと、世代を問わず「酒離れ」がますます進みそうです。

私が若い頃は先輩に強引に飲みにつき合わされ、それが当たり前のような時代でした。最近は「ソバークュリアス」という言葉を耳にすることがあります。お酒は飲めるけど、あえて飲まない主義とでも言うのでしょうか。もし昔からこの言葉を知っていたなら、二日酔いの日をもう少し減らすことができたかもしれません。「飲むな」と人から言われたら癪に障りますが、「今日は飲まないよ」と気軽に自分で決めればいいだけのこと。決めるのは自分自身です…。

では、今夜も晩酌楽しむとしますか。

広報部会長 田村 幸男

## 6 月の活動予定&amp;取組み

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

- 2日(火) | J-FAR 事業 解体事業者実態調査 定例会 (WEB)
- 3日(水) | 第1回ブロック長会議 (対面・WEB)
- 4日(木) | J-FAR 事業 異常電池処理 定例会 (WEB)
- 9日(火) | 第66回合同審議会 (対面・WEB)
- 17日(水) | 第24回業界景況調査 (～6月30日まで)
- 22日(月) | 2026年度日本自動車リサイクル機構 定時社員総会・懇親会 (対面)
- 25日(木) | J-FAR 事業 解体事業者実態調査 定例会 (WEB)  
第3回 広報部会 (WEB)

